

略称・略語は  
めんどろですぬ!  
エスエスエス  
SDGS  
(持続可能な開発目標)  
HVEV  
PHV?  
FCV

# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.371  
2022(令和4)年1月25日(火)発行

あの日から11年ですが、現在も「地震・津波・原発事故・風評」の四重苦の南相馬市です。「私はこう思う・大震災と原発事故から11年」のテーマで会員さんからこの会報に原稿を募集いたします。400文字程度で、提出は2月末日まで事務局員へ。

## ～「鈴木安蔵を讃える会」～

### 全国から 会員と協力者314名に

小高区出身の憲法学者鈴木安蔵を顕彰し、その旧住宅の保存や活用をめざす「鈴木安蔵を讃える会」を本会も支援していますが、今月中旬に会員・協力者は300名を超えたということです。

訪ねたことは?



鈴木安蔵住宅▲「讃える会」では、修繕工事、清掃、クリーニング、庭の除草などを実施しています。

## 冊子『鈴木安蔵を知るために』を発行

福島県南相馬市小高区出身  
憲法学者・『日本国憲法の間接的起草者』  
鈴木安蔵を知るために

○鈴木安蔵とは  
○鈴木安蔵宅、旧登録有形文化財に指定

- 『血闘争 鈴木安蔵』  
立正大学名誉教授 金子勝氏  
(朝日新聞発行 1982年10月22日・1983年1月10日) G0099 1475頁
- 『日本国憲法の間接的起草者—鈴木安蔵—』  
元福島大学学長 菅原勝雄氏  
(福島県立総合文化センター発行) 1983年10月発行  
『福島県立総合文化センター』47頁
- 『鈴木安蔵の生い立ち、人間関係』  
詩人・元福島県立憲法館館長 若狭丈太郎氏

○『鈴木安蔵を讃える会』設立のいきさつ  
○新聞記事など

鈴木安蔵を讃える会

鈴木安蔵氏の生い立ちや人物像、憲法制定の業績について、  
1. 立正大学名誉教授金子勝氏、  
2. 元福島大学学長吉原泰助氏、  
3. 詩人若狭丈太郎氏、  
の三氏の解説文が分かりやすいと好評のようです。写真も多数掲載。  
A4判、三二ページ。非売品。

▲この冊子は2021年12月1日に発行され、「鈴木安蔵を讃える会」会員や協力者、鈴木家旧宅の見学者に配布されています。

## “小高は日本国憲法のふるさと”

憲法学者鈴木安蔵生誕之地  
憲法学者鈴木安蔵生誕之地

国の登録有形文化財(二〇一八年十一月二日指定)

### 鈴木安蔵住宅に案内の標柱を建立

■小高区の駅通りに面した旧林業局(小高区仲町一六七)の主屋が、鈴木安蔵の旧宅です。■震災後、鈴木家には県内や全国各地から見学者が一万人にのぼっていて、「憲法の聖地」のようです。

■標柱は高さ2mの青森ヒバ(ヒノキアスナロ)の角材柱の二面に、「憲法学者鈴木安蔵生誕之地」と表記されています。

■「日本国憲法の間接的起草者」で、『日本の青空』として映画化された郷土の偉人ですが、地元の南相馬市小高区でも原町区でもあまり知られてはいません。ちょっと残念なことです。

**福島市に東北初の公立「夜間学校」開校へ**福島市民や県民の長年の運動がついに実を結び、2024年度から福島市に公立の夜間学校が開設されることになりました。公立夜間学校は全国に36校東北地方では初で、運動の継続は力です。元文部科学省事務次官の前川喜平さんは自主的な講師として福島市に通い続け、12月17日福島市で喜びの挨拶をされています。

## 会員さんよりメール

### 9条からの発想

#### 「地球平和憲章」や「南極条約」

神奈川県川崎市麻生区 林純夫さん

No.361の「福島第一原発事故は子どもから、大地、山、川、海で友だちといっばい遊ぶ子ども時代をうばった」の寄稿文は胸に突き刺さり、確かに“児童憲章”を忘れていています。憲章「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、よい環境のなかで育てられる」を学校の目に付くところに掲げて置くべきですね。

No.366の「米軍のテロ戦争に加担した日本にも大きな責任があり、その検証が必要ではないでしょうか」全く同感です。反省のない日本を見ていると嫌になります。

No.367の「地球平和憲章」のこと不勉強で初めて知りました。憲法9条が発展して…素晴らしい発想ですね。原町の「世界は憲法9条をえらび始めた」の大看板はどちらに設置されているのでしょうか？9条が「南極条約」に影響を与えたということも初耳です。No.368の汚染水に廃炉問題も、本当に悩ましい問題です。

冬本番です。ご自愛下さい。(2021年11月27日記)



人権、反戦平和、護憲、反核兵器、脱原発を、詩人として静かに発信し続けたい若松丈太郎さん。



## 若松丈太郎 著作集 全3巻

＜2月下旬出版＞

昨年4月21日85歳で逝去された詩人若松丈太郎さん(会員)の著作集・全3巻(全ての詩、評論、相馬地方の文学史論など)が、(株)コールサック社TEL03-5944-3258から刊行されます。全3巻¥11,000。

## 吉原泰助さん逝去

2005年から17年間福島県九条の会代表の吉原泰助氏は、1月21日88歳で逝去されました。経済学者で元福島大学学長、護憲と反戦主義者で県内外で長く平和運動や9条を守る活動を牽引され、そのご功績は計り知れません。雅子皇后の実父小和田恒氏とは東大時代の同級生で、福島に招いて親交を深めておられました。

## ＜事務局より＞

やはりコロナ感染拡大第6波とオミクロン株の感染急増で2022年が始まりました。特に子どもたちの当たり前の学校生活、授業や学校行事、入試や進学や就職などへの影響が一層心配です。今の若者も本当に大変です。

会報を知人や友人へ配っていますが、「会報を読みたいので入会したい」という方が市外から数名出てきて、大変嬉しく思っています。でも毎号ふさわしいテーマか、稚拙な内容ではないか、誤りは、と不安ばかりで編集しています。

## はらまち九条の会 事務局

○会長：平田慶肇 TEL(0244) 24-1211  
○事務局長：早坂吉彦 TEL090-2975-2508

○事務局次長：山崎健一(福島市) TEL090-7527-5453 Eメール:yamazakiken1@gmail.com

○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二(郡山市) TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○大浦祥見 TEL24-0704

○志賀勝明(相馬市) TEL090-9530-5524 ○若松麟二 TEL23-5732 ○田中徳雲(小高区)

♪ どどこで春が生まれてる  
どどこで水が流し出す  
(詞・百田宗治)

